

【記入例】

採 用 者 給 料 査 定 書

太枠で囲んだところのみ記入する

平成9年1月1日以 降の臨時的任用時の 職員番号	※	※	職 員 番 号 氏 名	3 1 9 3 6 7 和歌山 太郎
令和9年4月1日 現在の満年齢	生年月日	昭和・平成55年 8月13日生 45歳		
高等学校から記入、 大学は専攻学科まで	修 学 歴	学校名（学部・専攻学科）	卒業・修了年月	修学年数
		〇〇高等学校 普通科	H11年 3月 卒・修	3 年
		〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H16年 3月 卒・修	4 年
浪人、留年、留学の 期間も職歴欄（1行 目）に入れる		勤務場所（職務内容）	期 間	勤続年数
		浪人	H11年 4月～H12年 3月	1年 月
アルバイトか正式か を記入する	職	〇〇株式会社（正式）	16年 4月～20年 3月	4年 月
臨時的任用の場合は 「講師」と記入する		〇〇小学校（講師）	20年 4月～20年 7月	年 4月
		在家庭	20年 8月～20年 8月	年 1月
		〇〇小学校（講師）	20年 9月～21年 3月	年 7月
非常勤講師で同じ期 間に2校以上勤務し た場合	歴	〇〇商事（派遣社員）	21年 4月～22年 3月	1年 月
		〇〇高等学校（非常勤講師週2h）	22年 4月～23年 3月	1年 月
		〇〇高等学校（非常勤講師週6h）	年 月～ 年 月	年 月
		〇〇高等学校（非常勤講師週8h）	23年 4月～24年 3月	1年 月
非常勤講師の場合は 1週間あたりの授業 時間数を記入する		〇〇高等学校（初任研補充月1日）	年 月～ 年 月	年 月
		〇〇中学校（講師）	24年 4月～25年 3月	1年 月
		在家庭	25年 4月～27年 9月	2年 6月
		〇〇中学校（講師）	27年 10月～R9年 3月	11年 6月
月1日の初任研補充 も記入する		合 計		24年 月

戸籍上の氏名を正確に記入する

正規の修学年数を記入する

- 職歴は、卒業から令和9年3月31日まで、途切れることなく記入する。浪人も職歴として記入する。
- 月の途中まで在家庭で、その後採用された場合、その月は採用の勤務期間に入れる。
- 月の途中で退職し、その後在家庭の場合、その月は退職した職の勤務期間に入れる。
- 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用の勤務期間に入れる。
- 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し続きを記入する。その際、すべての用紙に記名のうえ、右上をステープラー留めする。